

令和7年度 学校自己評価システムシート(県立杉戸高等学校)

目指す学校像	一人ひとりの能力を確実に伸ばし、夢の実現を支援する学校
--------	-----------------------------

重点目標	1 進取の気概を持ち、社会に貢献できる人材を育成する 2 総合的な知の習得を行う 3 地域との交流を深めた教育活動を行う
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	事務局(教職員)	名
	生徒	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(令和 年 月 日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	令和3年度に入試の倍率が定員割れを起こして以来、広報活動に力を入れている。その結果、令和6年度入試は1.19倍、令和7年度は1.33倍となり、入学時の学力は上がっている。一方で杉戸高校は生徒をどこまで引き上げていくかという学校全体としての意識が共有され切っていない。教員個々の授業改善に加え、組織としての取組を強化していくことが不可欠である。	①授業改善に向けた取組 ②生徒を「自立した学習者」にする取組	①3年間を見通した教科・科目の方針に則って授業計画を作成し、教科内で目線を合わせた授業を実践する。 ①校内の授業見学、他校視察や予備校の主催する教員研修、教育センターの開催する希望研修を活用して、教員個人の能力の伸長を図る。 ②進路指導部と学年が協力して、生徒が自ら学習に向かえる姿勢が作れる仕掛けを作っていく。 ②生徒が自習をしたり、教員に質問しやすくなる環境を整備する。	①教科内で目線を合わせた授業を実践することができたか。 ①教員一人一人が個別に研修する機会が増えたか。 ②進路指導部が3年間を見通して時期に応じた目標を定め、スタサボや模試の結果を分析し、その結果を学年に伝えることで、各担任が個に応じた指導ができたか。 ②生徒が主体的に杉高手帳を活用する機会が増えたか。自習室の整備ができたか。生徒が教員に質問をする回数が増えたか。		
2	新型コロナウイルスの猛威がなりを潜め日常が戻ってきた今、これまで規制をかけていた、対面での活動や学校行事を元に戻していく必要がある。人とのかかわりを重視し、体験する機会や異なる立場からの人から学ぶ機会を充実させることで、座学だけでなく生きていく上で必要となる総合的な知の習得を図っていく。	①これまで行なってきた教育実践の結び付け ②学校行事の充実	①授業で行なっていることと行事として行なっていることを結び付け、生徒の意識の中で関連付けをさせる。 ①進路指導で活用している模試、スタサボ、進路講演などを結び付け、進路目標の達成を目指す。 ②LHR計画の中に、租税教室や金融教育、防災教育など今後生徒が生きていくうえで必要となるリテラシーを養う。 ②DXハイスクール事業を活用し、教科横断的な授業の実践、探究活動における具体的な実践を推進する。	①授業と、Start Up Programや英検全員受験などの行事とを結び付け、有機的に機能させることができたか。 ①これまでやってきた模試、スタサボ、進路講演の系統性を高め、進路目標を達成することができたか。 ②LHR計画の中に租税教室や金融教育、防災教育などを位置付け、実施することができたか。 ②教科横断的な授業の実践や、探究活動における具体的な実践を行なうことができたか。		
3	本校のように地元からくる生徒も多い学校では、地元で愛され、良好な関係を保つことが重要である。幸いにして、地元地域からは生徒のマナー、行動について一定の信頼と評価を得ているものの、しばしば地元住民から意見をいただくこともある。生徒のモラル、マナーを向上させ、地元地域に還元できるよう取組を行う必要がある。	①生徒を「自律する生活者」にする取組 ②地域連携の強化	①登下校時の交通マナーや生活空間の整理整頓、挨拶や身だしなみなどについて、自らの行動を客観視させ、生徒個人の自律を促す。 ①地域、保護者からの助言、指摘から情報を得て、生徒の実態に即した個に応じた指導を行う。 ②杉戸町役場や大学、小中学校と連携し、「総合的な探究の時間」や特別活動として具体的実践を行い、交流を深める。 ②地域貢献事業として、本校を希望しない生徒にも広く入試情報の提供を行なう。	①教室や部室が整っているか。整容再検査者数が減ったか。 ①保護者アンケートやいじめアンケートなどから問題を未然に防ぐことができたか。 ②杉戸町役場や大学、小中学校と交流を深めることができたか。 ②近隣の中学生に対し、広く入試情報を提供できたか。		

学校関係者評価	
実施日(令和 年 月 日)	
学校関係者からの意見・要望・評価等	